

一九五九年一月二十五日 發行



第42卷 第1号

史学・地理学・考古学

- 近世初頭における畿内幕領の支配構造…………… 朝 尼 直 弘 (1)
- 第二アテナイ海上同盟の同盟総会…………… 衣 笠 茂 (34)
- 中部アンデスにおける村落共同体の地理的意義… 佐々木 高明 (51)
- 西夏時代における河西を避ける交通路…………… 前 田 正 名 (79)
- 長州藩における慶応軍政改革…………… 田 中 彰 (104)

動 向

- ヨーロッパ中世前期の商業…………… 堀 内 一 徳 (125)

書 評

- 豊田堯著：バブーフとその時代…………… 河 野 健 二 (133)
- Aubrey Diller : The Tradition of the Minor
- Greek Geography…………… 高 橋 正 (137)

紹 介

赤松俊秀校註：隅蓑記 第一 平岡定海著：東大寺宗性上人
 之研究並史料 上巻 京大国史研究室編：日本近代史辞典
 京大西洋史研究室編：西洋史辞典

学界消息・例会予告・会告

史 学 研 究 会

京 都 大 学 文 学 部 内

史学研究会

地域の機能的進化の過程に遲滞を生ずる例も少くなかつた。その結果、基礎地域の中に保持されてきた固有の土着文化と基礎地域を覆つて拡散した外来文化は、相互に再調整され、ここにより高次な混合文化をもつ「民族地域」が形成されたのである。勿論、現在中部アンデスでは共同体は遺制として残存するにすぎず、共同体のもつ機能も著しく減少している。しかし現代の「地域」の特色を生み出すに當つて、この *ayllu* 共同体の果たした役割の重要性は十分評価されねばならない。

なお同様の事例は、メキシコ^①・グアテマラなどのメステーン・アメリカ各地においても見出されるが、これらの事例については他日稿を改めて比較研究することにし、この小論はひとまずここで筆を置きたい。

拙筆に当り常に御指導を頂いた織田武雄・藤岡謙二郎・有光教一各先生はじめ、この小論執筆に当り勵まして頂いた押野昭生氏に深い感謝の意を表する。

① メキシコにおける共同体は *ejido* とよばれ、一九四〇年のセンサスによればその数約一四、七〇〇、平均七〇家族といわれ *pusé*。 (James, P.: *Latin America*, 1950 p. 552.)

② *グアテマラ* におけるは最小の行政単位 *municipio* が生活共

同体を形成してゐる。Tax, S.: The *municipios* of the midwestern highland of Guatemala, *Am. Anthropol.* 39, 1937 p. 423—444.

McBride, G. M. & McBride, M. A.: Highland Guatemala and its Maya Communities, *Geogr. Rev.* 32, 1942 p. 252—268.

McBride, F. W.: Cultural and Historical Geography of Southwest Guatemala (Smithsonian Institute of Social Anthropology, Publication No. 4, 1947) とくに八八頁以下。

(昭和三年十一月稿)

史学研究会例会予告

左記により当会二月例会を開催いたします。多数御参集をお待ちいたします。

日 時 二月七日(土)午後一時より
場 所 京大染友会館(市電近衛通下車)

講師演題

鎌倉幕府法の封建的性格

上横手敬雅

英国中世地方史研究の動向

越智武臣

の類似性を具体例をあげて示してゐるが、彼は兩者間の形態的な類似点を示したはずき本質的な関係についてはいくつも触れてゐる。

6 Fragmenta periegesos ad Nicomemem regem (Pseudo-Seymi) Nic. 44 Cod. d2 v Scaliger MS. 32 (Cod. d4) は残されてゐるがそのノーマン・マン・マン Cod. D (pp. 125-143) はその前半が見られる以上 Müller がそのマニスト編纂を先ず Cod. D より、後半 (G. G. M. I 743 *Afros* など) を Cod. d2 によつたことは当然でありまたやむを得なう。Diller は Müller が Cod. d2 によつた部分を、先づ Cod. B より編纂した Eux. 中に見られる Nic. の佚文によつて増訂したものである。

以上不十分ながら章を追つて説明して来たが、要するに Eux. を中心として Cod. B が充分活用されてゐる点が本書の特色となつてゐる。われわれは Diller が、更に活用の余地ありと考へられる Cod. B を駆使して M. G. G. の他の分野に研究を展開されることを期するがらである。

なほ Diller の論文ではすでに示したものの他に次の様なものがある。

〈Codices Chifletiani, Z B B 52 (1935), 48-53〉
 〈Scipio Tettius' index librorum nondum editorum, A J Ph 56 (1935), 14-27〉

〈Incipient errors in MSS., T A Ph A 67 (1936), 232-239〉
 〈List of provinces in Ptolemy's Geography, C Ph 34 (1939), 228-238〉

著 A J Ph—American Journal of Philology.

Z B B—Zentralblatt für Bibliothekswesen.
 TAPhA—Transactions of the American Philological Association.
 CPh—Classical Philology

執筆者紹介

朝尾直弘	京都大学大学院学生
衣笠茂	甲南大学助教授
佐々木高明	京都大学大学院学生
前田正名	東京教育大学大学院学生
田中彰	東京教育大学大学院学生
堀内一徳	近畿大学講師
河野健二	京都大学助教授
高橋正	京都大学大学院学生

費を、次の通り増額いたします。なおこの件につきましては去る十一月二日開催の会員総会に御報告し、万場一致で承認をうけました。当日御出席なき会員各位におかれましても、御了承、御協力下さいますよう御願いたします。

新 建 員 年間九〇〇頁 一号当約一五〇頁

旧 建 員 年間六〇〇頁 一号当 八八頁
(六号のみ一六〇頁)

新 会 費 年額九〇〇円 一号定価一八〇円

旧 会 費 年額六〇〇円 一号定価一〇〇円
(六号のみ約二〇〇円)

(御注意) 毎号奥附の定価は一八〇円でありますが、会員各位の会費は、一号当り一五〇円として計算し、毎号「お知らせ」を同封して残高を御連絡申しあげます。

一、次期評議員の選出について

会則により、現評議員の任期は、来る三月三十一日を以て満了いたします(任期は二年)。

次期評議員の選出には、会員中より理事会において選出し、会員総会の承認を経ることを要します。従いまして、去る昭和三十三年十月二日開催の理事会におきまして、慎重審議の結果、現評議員のうち、辞意を申し出られた

石田龍次郎氏を除く五九名の方には全員留任を御願いすることとし、新たに岸俊男氏(京都大学助教)、中山治一氏(大阪市立大学教授)、樋口隆康氏(京都大学助教)を追加選出することに決し、十一月二日開催の会員総会に提案しましたところ、万場一致を以て承認をうけました。次期評議員全員の御氏名は現評議員各位の任期満了の後、当史林誌上に公告いたしますが、とりあえず選出の経過につきまして御知らせいたします。

史学研究会

会員各位

|||| 編 集 後 記 |||

一九五九年の新春、あけましておめでと

ございます。会員の各位も、それぞれ新しい御抱負をおもちになつておられることとぞんじます。この史林も永年にわたつたページ数の不足を、なんとかここに解決して、ことあらたまつた浄机の上におとどけでる運びとなりました。肉体にはその優美があり、精神にはその才智があるように、史林もその活気ある内容を誇らなければなりません。朝尾氏をはじめとする多様な論稿はこの要求には

つきり解答をあたえるものと自負しております。前巻では8ポで組まざるをえなかつた論文も、今後でできるかぎり9ポで組めるようになりました。いくぶん紙面の余裕もゆるされることになりましたので、会員各位の御投稿をお待ちしております。また本巻より書評と紹介の二つの欄に分けることにいたしました。紹介欄についても、今までの書評に御投稿たまわつたのと同じく、会員各位で適当な著書、論文を御紹介いただきとうございますし、またそれについての資料や御意見をお送りいただきとうございます。

これから会員各位の御精励をおいのりして。そして凡庸でない四二巻を築いていくことを心にきめながら。(永井三明)

一九五八年十二月二五日印刷
一九五九年一月一日発行
定価 一八〇円

史 林 (第四二巻 第一号)

京都市左京区吉田本町
京都市文学部内

発行所 史 学 研 究 会

理事 長 振替京都五一五五番
編集主任 宮崎市定
赤松俊秀

印刷所 中村印刷株式会社
京都市下京区西七条御所ノ内東町三九

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XLII No. 1

Jan., 1959

CONTENTS

Articles :

- Governing Structure of the Shogunal Territory in *Kinai*(畿内)
at the Beginning of the *Edo* Era *N. Asao* (1)
- The Assembly of the Second Athenian
Confederacy *S. Kinugasa* (34)
- Geographical Significance of the Communities
in Central Andes..... *T. Sasaki* (51)
- The Traffic Routes Without Passing *Ho-hsi* (河西)
in the *Hsi-hsia* (西夏) Era *M. Maeda* (79)
- On the Reformation of Military Administration by the
Choshu(長州) Clan in the *Keio*(慶応) Era..... *A. Tanaka* (104)

Note :

- Commerce of Early Medieval Europe..... *K. Horiuchi* (125)

Book Reviews & News

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan